

令和6年度 林業普及週間現地情報(2/3～2/7)

森林管理課

植栽体験等木育の開催

2月7日(金)

令和7年2月7日、今帰仁小学校の小学4年生の生徒たち45名を対象に木育の一環として植栽体験等を開催した。当日は体験のサポートとして今帰仁村経済課、今帰仁村教育委員会、沖縄北部森林組合からも参加いただいた。

場所は今帰仁村内の昨年度の伐採跡地で、本箇所では収穫したクスノキ材は現在建設中の今帰仁小学校新校舎に本棚やカウンター等として活用する予定である。当日は普及指導員が今帰仁小学校の新校舎で地域材を使用する取組概要について話をした後、植栽方法等について説明し、子どもたち全員にクスノキの苗木を植栽してもらった。子どもたちは1人1本の植栽予定だったが、多くの子が複数本植栽しており、楽しく植栽を体験してもらうことができた。また他にも、昔の沖縄の人々がどのような材料、道具を使って生活してきたかをクイズ形式にして考えてもらい、木が生活に必要不可欠であったことをイメージしてもらうゲームも行った。

昨年度も同小学校生徒たちを対象に別の内容で木育を実施しており、昨年度話したクスノキの特徴を覚えていたり、製作した木製メダルをまだ持っていると話してくれた子も複数人おり、子どもたちに森や木について触れたり、学ぶ機会の必要性を改めて感じた。

引き続き同小学校や教育委員会と連携し、今後も植栽地における育林体験等、継続的な木育活動につなげていきたい。



(報告者：北部農林水産振興センター 仲里、佐野、西岡、國吉)